



# ネクストインフラ 会社説明資料



はじめまして、私たちはNEXT INFRAです

## 会社紹介 / company

商号	ネクストインフラ株式会社
資本金	15,000,000円
代表名	代表取締役 菊谷 龍
設立	2024年8月29日
所在地	福岡市中央区天神一丁目11番1号 ONE FUKUOKA BLDG. 7階

## 主要メンバー略歴/members

### 菊谷 龍 /代表取締役

Kikutani Ryu

土地家屋調査士・測量士。2009年に菊谷龍土地家屋調査士事務所及び菊谷測量を開設し、2015年には株式会社ケイズプロジェクトを設立。代表取締役として、業界に先駆けて3Dスキャナ測量を導入するなど、常に最先端の技術革新を牽引してきた。

測量のプロフェッショナルとして培った知見を基盤に、「次世代のインフラを自らの手で創り出す」という強いビジョンを掲げ、2024年ネクストインフラ株式会社を設立。

アナログとデジタルの境界を越え、都市の“見えない基盤”をアップデートする挑戦を続ける。AI制御信号機では、渋滞緩和からのCO2排出量の削減、また誰もが移動しやすいスマートシティを目指している。



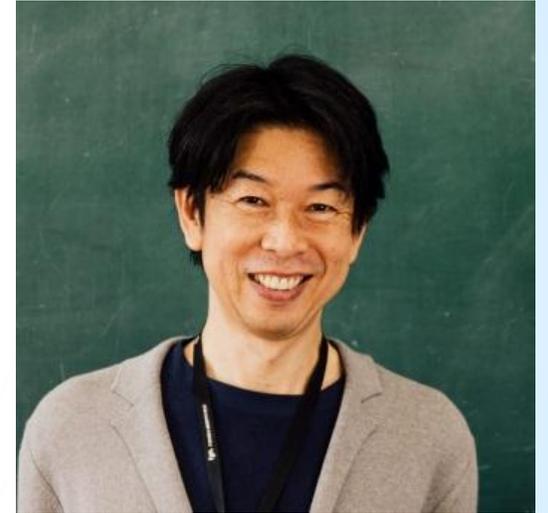
## 主要メンバー略歴/members

### 栗山 真也 /代表取締役専務

Shinya Kuriyama

2015年に不動産会社、2019年にセキュリティデバイスを提供するスタートアップを創業。代表として大手企業との協業やサービス提供を実現し、シード期から複数回の資金調達を成功させるなど、事業開発と経営の両面で実績を積み重ねてきた。

2024年には代表取締役社長・菊谷とともにネクストインフラ株式会社を設立し、複数の事業創出と社会実装プロジェクトを手がけてきたリアルアントレプレナーとして、技術・行政・法制度・現場運用を横断的に理解し、複雑な利害関係を整理しながら新しい仕組みを形にすることを得意とする。現在は「AI信号機による交通渋滞ゼロ社会」の実現を掲げ、国内外の行政・大学・企業との協働を通じて、次世代インフラの実装を推進している。



# 01

## 私たちが実現すること

what we achieve

# 渋滞のない世界を 実現する

最新のAI技術と先進的な交通制御システムを活用し、  
都市の渋滞を解消することで、  
誰もが快適に移動できる社会を実現します。

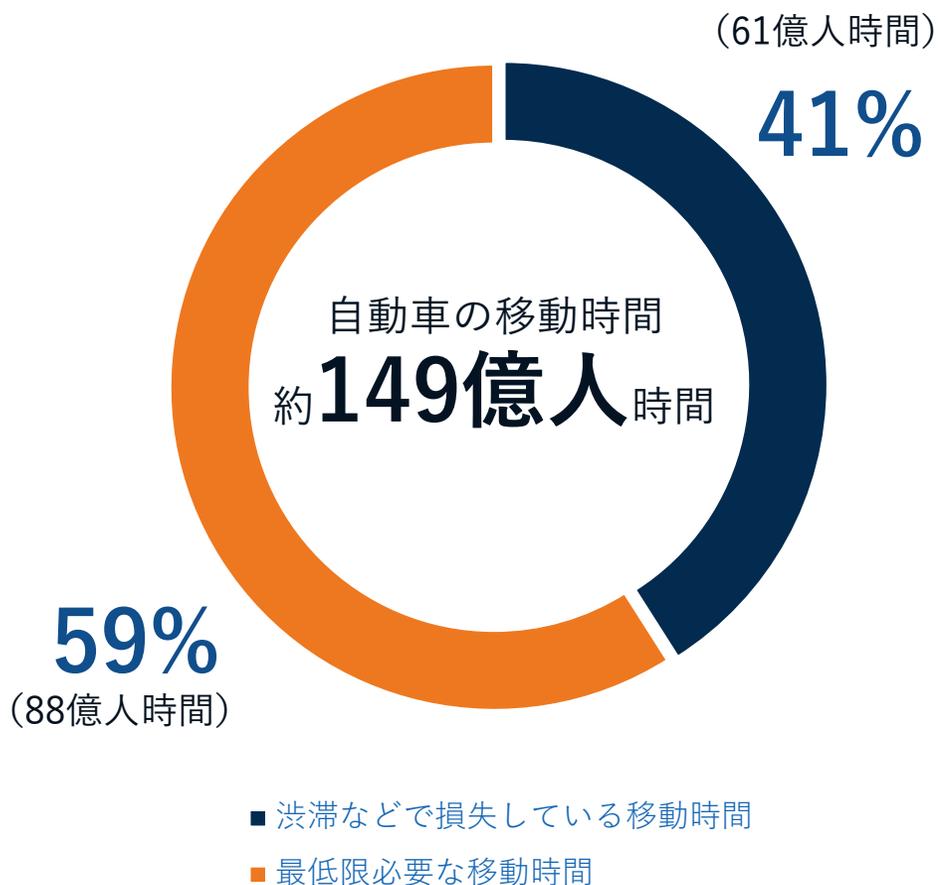
世の中のニーズに基づいた改善策を日々実行し、無駄な待ち時間や混雑を  
取り除くことにより、効率的で持続可能な都市生活を支えるインフラを構  
築します。

# 02

## Phase1 交通分野でのPoC

PoC in the transportation field

もし、渋滞がゼロになったら



社会に大きな影響を及ぼすインパクトスタートアップとして、事業単体の収益性に加え、社会変革を目的に活動しています



移動時間が**約4割**削減



GDP換算で**約30兆円**※1の経済効果

ソーシャルファイナンスにより、コミュニティの力で社会課題を解決



CO2排出量※2が**20%**削減

ビジネスパートナーとの取引により、事業をグロースさせる

渋滞解消による経済効果とCO2削減をフックに、環境問題に取り組む機運を高め、社会全体を巻き込みながらムーブメントを起こしていきます。

出所：国土交通省.

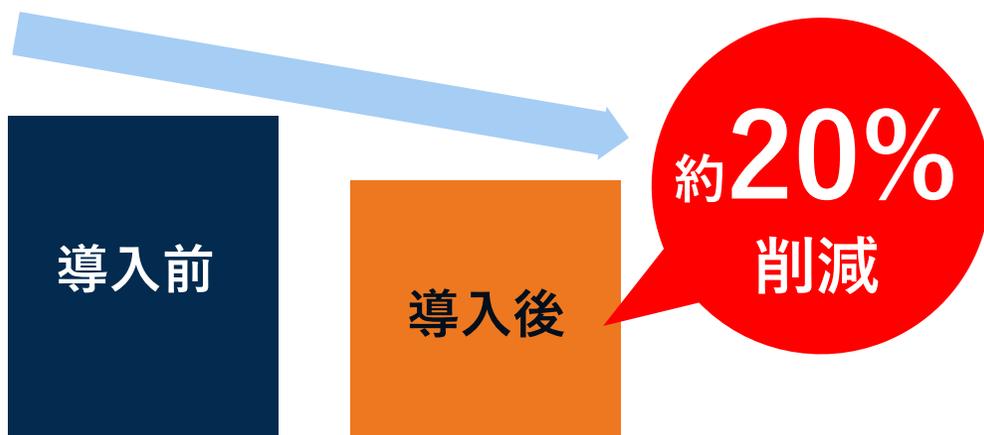
[https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/buturyu\\_douro/pdf01/02.pdf](https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/buturyu_douro/pdf01/02.pdf)

\*1：日本の労働時間あたり名目GDPを5000円/時間として算出

\*2：交通渋滞によるCO2排出量（当社調べ）

【初期マネタイズ】 渋滞が減った結果、削減されるCO2をクレジットに変換（特許出願済）

自動車によるCO2排出量



AI信号機を導入、  
導入前と導入後の状態を可視化

削減したCO2をクレジットに変換する

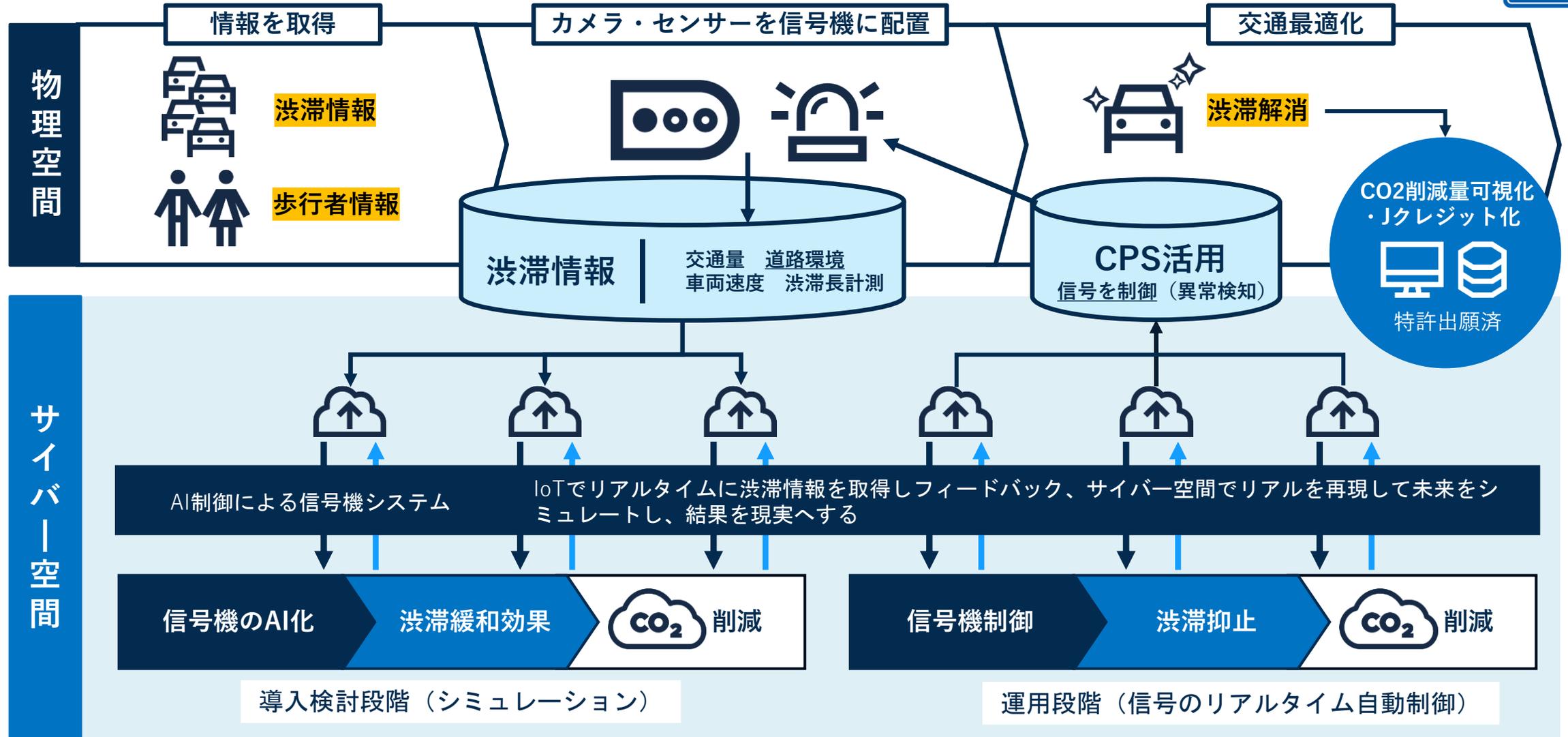
この削減量を可視化

削減量を「クレジット等」に変換し  
販売する

どのように渋滞を減らすのか？

# AI制御による信号機システムで 渋滞を緩和させる

交通分野でのPoC



## Phase1

### MVP確立

- 交通信号最適化のパイロット、交通課題が顕在化しているエリア選定  
(福岡市及び政令指定都市)
- ユーザー行動・交通データをリアルタイムで収集・分析し、改善効果測定
- 改善ポイントの洗い出し、製品改良
- パートナーシップ形成のための産官学連携

## Phase2

### 全国展開 (PMF確立)

- 全国規模での営業開始
- 各地域の特性に合わせたサービスカスタマイズ
- プラットフォームのテンプレート化
- シナジー効果を見込んだ企業との連携

## Phase3

### スマートシティとの連携

- スマートシティの実証実験及び都市との連携強化
- IoT、ビッグデータ、AI技術を統合、全体最適化
- 都市政策との連携を深め、国・地方自治体の補助金等の活用
- 技術力やデータ連携強化、グローバルなプラットフォームへ展開

## Phase4

### 海外進出と国際標準化

- アジア新興国・欧米先進都市への展開
- 国際標準化の推進
- グローバルPMOの強化

わたしたちのビジョンを実現するために  
信号電材株式会社様と業務提携しました



交通信号機分野で日本国内シェア50%

